

大河 の誕生地



高知県津野町
不入山風景林
**四万十川源流点
ガイドブック**

Headwaters of the Shimanto River
GUIDE BOOK

問い合わせ先

津野町役場産業課

〒785-0201 高知県高岡郡津野町永野471-1

TEL0889-55-2021 FAX0889-55-2022

URL <https://town.kochi-tsuno.lg.jp/>

※本誌掲載データは2022年2月現在のものです。

高知県津野町

大河 の誕生地

Tsuno, Kochi;
the birthplace
of the Shimanto River

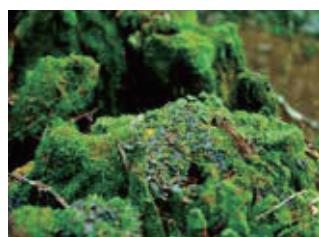
不入山風景林
**四万十川源流点
ガイドブック**

Headwaters of the Shimanto River
GUIDE BOOK



鬱蒼と生い茂る樹木、苔むした岩肌
清流196kmの旅は
ここ不入山の森から始まる

日本最後の清流と呼ばれる四万十川の源流点は、津野町のはば中央、1,336.1mの高さを持つ不入山の南東部、中腹に端を発します。四万十川源流の碑の横から延びる源流点への道は、周囲を鬱蒼とした樹木が生い茂り、苔むした岩が目も眩むような緑あふれる色彩を作り出し、「源流」の名にふさわしい風景が目の前に広がります。源流の碑から、源流点までは徒歩で約25分。ひんやりとした空気の中、道標に従い緑の中を歩いていくと、あちこちの岩々から染み出すように水滴があふれ出ているのが分かります。この水滴の一粒一粒が集まり、やがて一筋の清冽な流れとなり、遙か196km先の河口を目指す大河になっていくのです。「日本最後の清流」。まさにこの名にふさわしい四万十の聖域です。



四万十川源流点 ルートマップ



【四万十川源流の碑までのアクセス】

国道197号より県道378号へ入り、山道を進む。「四万十川源流点」の道標に従って、車で15分ほど走り義堂・絶海の像がある堂海公園を過ぎて、県道との分岐を左折。しばらく走るとヘアピンカーブの先に、源流点の入口となる四万十川源流の碑が立っています。





四季折々に豊かな
表情を見せる
源流の森



【不入山DATA】

標高1,336.1m。四国カルスト自然公園に属し、四国百名山の一つに数えられています。源流点から流れ出る四万十川本流のほかに、支流の一つとして七色の滝(長だる)とよばれる名瀑のある不入渓谷が、山の北西部にあります。



アケボノツツジ



小さな水の一滴が
やがて大河に変わる

不入山に端を発した四万十川は、幾筋もの支流を集め、蛇行しながら遙か196km先の河口を目指します。流域には手付かずの自然が残り、アメゴやアユをはじめとする生き物も数多く棲息しています。流域の人々は昔から、この四万十川の恵みを受け、時には猛威を振るう自然を恐れ敬いながら、川とともに暮らし、独特的歴史や文化を育んできました。

近年では「日本最後の清流」と呼ばれ、町内外から数多くの観光客が訪れるようになりました。これからも四万十川に関わる全ての人が、この清らかな流れの保全に努め、後世まで守り伝えていくことが私たちに課せられた大切な責務なのです。



【早瀬の一本橋】

津野町芳生野を流れる四万十川の支流、北川川に架かる橋。橋桁の上に杉板を渡しただけというシンプルなスタイルは沈下橋の原形といわれています。

四国最長の大河

高知県西部を流れる一級河川・四万十川は、全長196km、流域面積2270km²を誇る四国最長の川です。本流に大規模なダムが建設されていないことから「日本最後の清流」と呼ばれ、環境庁(現環境省)が選定した名水百選などに選ばれています。以前は、河川法上「渡川」が正式名称でしたが、日本最後の清流ブーム以来、四万十川という名の人気が高まり、平成6年7月25日に、一級河川としては初めて「四万十川」に改名されました。



【追合の滝】

四万十川源流近くにあり、悲しい平家の落人伝説が残されています。



【稻葉洞】

堂海公園下の川岸にぽつかりと口を開けた鍾乳洞。

また、この付近の四万十川には、清流だけに生える川のり、セイランが自生しています。

四万十川・大河の姿



【上流】 川幅はまだ狭く、流れる水も清流の名にふさわしい。写真は、本流で最上部にある高樋の沈下橋です。

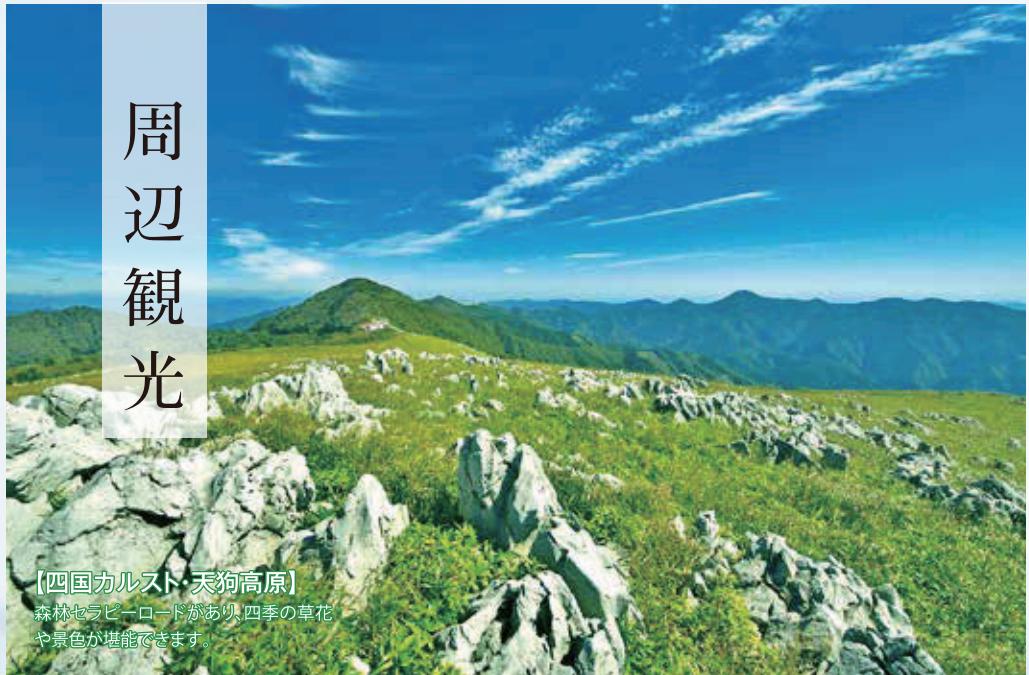


【中流】 川幅が広くなり、蛇行するうねりも大きくなり、大河の様相を見せてきます。写真は上宮沈下橋。



【下流】 川幅はぐっと広くなり、悠悠と流れる大河の様子は大陸的な雰囲気。写真は最も下流にある佐田沈下橋。

周辺観光



【四国カルスト・天狗高原】

森林セラピーロードがあり、四季の草花や景色が堪能できます。

雄大な自然が充実のエリア

日本三大カルストの一つ、四国カルストは標高1,400mを超え、雄大な自然が一望でき、羊の群れのような石灰岩のカレント、浸食作用でできた窪地のドリーネなど、独特の景観を見る事ができます。また、明け方の雲海や夜空に広がる満天の星空を楽しむこともできます。



【風の里公園】

高さ68mの風力発電の風車が20基も並ぶ壮大な公園では、展望ゾーンや風の広場などが整備されています。



【布施ヶ坂茶畠】

つづら折りの道に、美しく手入れされた茶畠が広がっています。



【カルスト学習館】

四国カルストの地形や植物、生き物などを学習できます。(2022年春リニューアル予定)



【かわうそ自然公園】

大きな石のモニュメントが目印の公園は、かわうそがあちこちにいます。



【新莊川】

鶴松森から須崎市へと延び、ニホンカワウソの生きた姿が最後に目撃された川。



【満天の星 本社・加工所】

満天の星大福をはじめ津野町産のお茶を使ったお菓子の販売や、セルフカフェも併設。



【道の駅布施ヶ坂】

国道197号沿いにあり、新鮮な野菜や果物、お茶や手作りの惣菜などを販売。



【吉村虎太郎邸】

幕末、天忠組の総裁として活躍した吉村虎太郎邸を復元。地元の人々が作る虎太郎御膳(要予約)やうどんなども食べられます。



津野山の歴史と文化が香る郷



【津野町郷土資料館】

歴史的資料や遺跡からの出土品を展示。隣接して、維新後に財政界で活躍した片岡直輝・直温兄弟の生家が残されています。

【津野町の偉人】

室町時代に足利義満から信任された高僧・義堂と絶海や、幕末に勤王党の志士として活躍した吉村虎太郎、それぞれゆかりの地に像が立っています。



古来より津野山郷と呼ばれ、京から伝わった優美な文化が町の人々によって守り継がれ、現在に伝わっています。また、室町時代に活躍した高僧、義堂と絶海や、幕末に志を貫いた吉村虎太郎など、時代を駆け抜けた偉人の縁の地も町内いたるところに残されています。



【堂の口開け】

長さ3mの大わらじは、宮谷地区の住民によって魔除けとして祀られています。



【坂本龍馬脱藩の道】

佐川町斗賀野から津野町三間川に続く道は坂本龍馬が脱藩した道といわれ、今は関所を模した門が設置されています。



四万十川源流点へ車でのアクセス

◎高知市から

高知自動車道高知ICから須崎東ICまで約30分。ここから国道56号、県道284・315号線、国道197号を経由して約1時間で津野町船戸。さらに県道378号を約15分、分岐を左に曲がり、約15分で四万十川源流の碑に到着。

◎松山市から

松山市から国道33号、440号、197号などを経由して約2時間30分で津野町船戸。さらに県道378号を約15分、分岐を左に曲がり、約15分で四万十川源流の碑に到着。

※周辺に駐車スペース有

※四万十川源流点周辺にトイレはありません。

公共交通でのアクセス

- ①空路
東京(羽田)から高知龍馬空港まで約1時間20分、大阪(伊丹)からは約50分。
 - ②空港連絡バス
高知龍馬空港からJR高知駅まで約40分。
 - ③JR
JR土讃線で高知駅から須崎駅まで特急で約45分。
 - ④路線バス
須崎駅から高知高陵交通バスで約1時間、バス停「船戸」下車。
 - ⑤タクシー・徒歩
船戸からタクシーで約25分で四万十川源流の碑。徒歩の場合約2時間。
葉山ハイヤー TEL0889-55-2613・新田ハイヤー TEL0889-62-2145
※公共交通は便数が少なくなっています。あらかじめ発着時間をご確認のうえ、ご利用ください



四万十川源流点に一番近い宿
遊山四万十 せいらんの里